

城東通信

文責 青柳 博文



学校教育目標

夢実現◇成長の根幹づくり

～尊重の根を広げ、挑戦の幹を高める
やがて枝が伸び、芽が出て花が咲く～

◇城東中学校大応援団のみなさん、ありがとうございます

5月1日(水)の全校朝会は、全校生徒がはじめてそろっての朝会でしたが、8時10分のスタートには全校生徒がきちんと入場を完了しました。学校目標について話をしましたが、話の聴き方も非常に真剣で集中できていました。「人の話は聞く・聴き取る・つかみとる」人の話を真剣に聴ける生徒は必ず伸びていくことも話しました。

5月2日(木)、朝のおはなし会に来られた地域の方からも「こんなに真剣に聴いてくれて嬉しいです。」ということばをいただきました。同日午後は授業参観・PTA総会・部活動保護者会全体会を実施しました。231名の保護者のみなさんに参加していただき、生徒たちが集中して真剣に学びに向かう姿を見ていただきました。

4月当初より、学校全体が落ち着いた雰囲気スタートできています。生徒一人一人が今を大事にして、「しっかり勉強、ゆっくり休むメリハリのある学校生活づくり」を進めているのだと思います。

ただ、これから新年度スタートの緊張感がゆるみ、集団生活ならではの人間関係のトラブル等が出てくるのが予想されます。見守り・声かけ・指導支援が必要になります。どうぞよろしくお願いします。

城東中大応援団は本当にありがたいです。今年度もよろしくお願いします。

◇尊重の根を広げるとは

尊重(リスペクト)とは自分を大事にすること。自分を大事にすることは、必要なことを身につけ、自分で自分を鍛えるということであり、決して自分を甘やかすことではありません。

《身につけるべき必要なこと》

- メリハリ生活・・・食事・睡眠・対話・凡事徹底(あいさつ・話を聞く・時間厳守・服装を正す・黙働清掃)
- 学び・・・基礎学力(読み・書き・計算)・考え方
- ありがとう・・・良いことをする 例:大谷選手のごみ拾い
- してはいけないことをしない勇気・させない勇気

これらを意識しながら日々を過ごすことで、自分の根っこが少しずつ少しずつ広がっていきます。してはいけないことをしてしまうと根っこは一気に短くなり、自分の挑戦・努力・頑張りの幹が倒れてしまいます。どうか自分の尊重の根っこをどんどん広げて、自分の挑戦・努力・頑張りの幹をしっかり支えてほしいと思います。

◇家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てる

しつけ(SNSを含む)は家庭でするものです。学校では勉強や集団生活等を学ばせます。地域の皆さんには見守り・必要な声かけ・指導支援をお願いしています。それぞれがそれぞれの役割を再認識した上で協力体制をつくるのが、子どものよりよい成長を生むものと考えます。思春期・反抗期の心が揺れがちな年齢の子どもたちですが、ここを乗り越えることで大きく成長します。そのためにも大人が力を合わせる事が大切です。どうかよろしくお願いします。



◇ひとこと お店の人が通うお店

あるテレビ番組で紹介された同業者が通うある飲食店に、GW中に行ってみました。開店5分前に到着しましたが、すでに10名ほどのお客さんが並ばれていました。開店後、店内に案内されて席につくと、とても気持ちのよい雰囲気、接客も手際がよくとてもスムーズでした。頼んだものが届くと食欲をそそる何とも言えないよい香りがただよいました。うわさ通りの本当においしいものでした。ここにいたるまで、それからこれからもつづくであろうお店のスタッフの方々の創意工夫や試行錯誤を想像しました。